

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	監査事務の充実						継続
コード	97	-	23	-	01	-	00
担当部署	監査委員事務局						予算事業名 監査委員事務
							予算事業コード 会計 10 款 02 項 06 目 01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 無 法令による実施義務 義務

基本目標(章)		根拠となる法令、条例等	地方自治法、地方公営企業法、川越市監査委員条例、川越市監査基準
方向性(節)		個別計画等の名称	平成23年度監査計画
施策			
細施策			

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	定期監査、決算審査、例月出納検査等に関することを対象に監査委員の職務を補助し、効率的な監査業務の推進を図る。それにより、市民の行政に対する信頼を高める。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	監査委員が監査を行うための予備監査を事務局で監査委員に復命後、指摘事項を被監査部局に通知する。指摘事項のうち指摘及び意見に対する措置の進行管理を行う。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		5,055	5,012	5,099	4,735	5,065	
事業費	A	4,196	4,360	4,525	3,963	5,065	5,065
	B	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200	59,200
総コスト(C=A+B)		63,396	63,560	63,725	63,163	64,265	64,265
正規職員(1年間の従事人数)		8.00人	8.00人	8.00人	8.00人	8.00人	8.00人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		63,396	63,560	63,725	63,163	64,265	64,265

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

活動	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
施設	施設監査の実施設数	施設	24	24	24	31	施設監査を実施した施設の数
工事	工事監査の実施設数	件	2	3	3	6	工事監査を実施した件数
財政	財政援助団体等監査の実施設数	団体	3	3	3	3	財政援助団体等監査を実施した団体数
中心指標の考え方		本事業の成果には、被監査部局の状況が強く影響するため、活動指標で評価する。					
指標に基づく評価		施設監査及び工事監査について、実施数が増加している傾向にあり、監査事務の充実が図られている。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
施設監査について、監査対象施設の数が多いため、周期が長くなっている。今後、周期をより短くするための効率的な方策を検討する必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	
監査業務については、地方自治法に規定があるため、全国共通で行われている。	
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	
監査業務については、地方自治法第199条に規定があり、廃止することはできない。	
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
従来の監査手法の見直しにより、施設・工事監査の対象箇所を増やすことができた。今後も引き続き効率的な監査事務の執行に向け、財政援助団体等他の監査についても見直しを進めていきたい。	